



／ 倉敷 ／

就農の ススメ

倉敷市新規就農ガイド



K U R A S H I K I





About Kurashiki

倉敷市の概要

倉敷市は岡山県南部に位置する県下2番目の人口を有する中核市です。船穂地区、玉島地区、浅原地区・真備地区は古くから農業を基幹産業として発展してきました。

船穂地区は、ぶどう、花き（スイートピー）、野菜（金時人参・大根）などの栽培が盛んです。岡山県は、マスカット・オブ・アレキサンドリアは全国1位、スイートピーは全国2位の生産量を誇っていますが、その内、加温ぶどうとスイートピーの多くは、船穂地区で生産されています。出荷体制も整っており、船穂産のぶどう・スイートピーともに全国の市場で高い評価を得ています。

玉島地区は、もも、ぶどうの栽培が盛んです。選果場（ピーチセンター）が整備され、出荷体制も整っており、県内有数の産地の一つとなっています。

浅原地区は、倉敷市中心部を眼下に見下ろす高台に位置し、ももの栽培が盛んです。出荷体制も整っており、玉島地区と同様に県内有数の産地の一つとなっています。

真備地区は、丘陵地を中心に古くからぶどう、ももの栽培を続けてきた歴史ある産地で、特にぶどうは県内有数の産地です。

各産地は新幹線・山陽本線の駅からも比較的近く、自宅からの通勤圏内に高校も多数あります。岡山県内の新規就農者募集地域の中では、最も都市部に近く、子どもの保育・就学の選択肢が広がっています。また、大型スーパー、病院、図書館などの生活・公共施設等も近距離にあり、日常生活に不便の少ない、住みやすい地域です。

また倉敷市のある岡山県は「晴れの国」として有名であり、雨の少ない温暖な気候です。震災に遭う可能性が低いということもあり、移住の観点からも注目を集めています。

Map

倉敷市位置図

「暮らしやすい都市機能」と「恵まれた自然環境」が共存する倉敷市。同じ市内でも地域によってさまざまな特色があります。



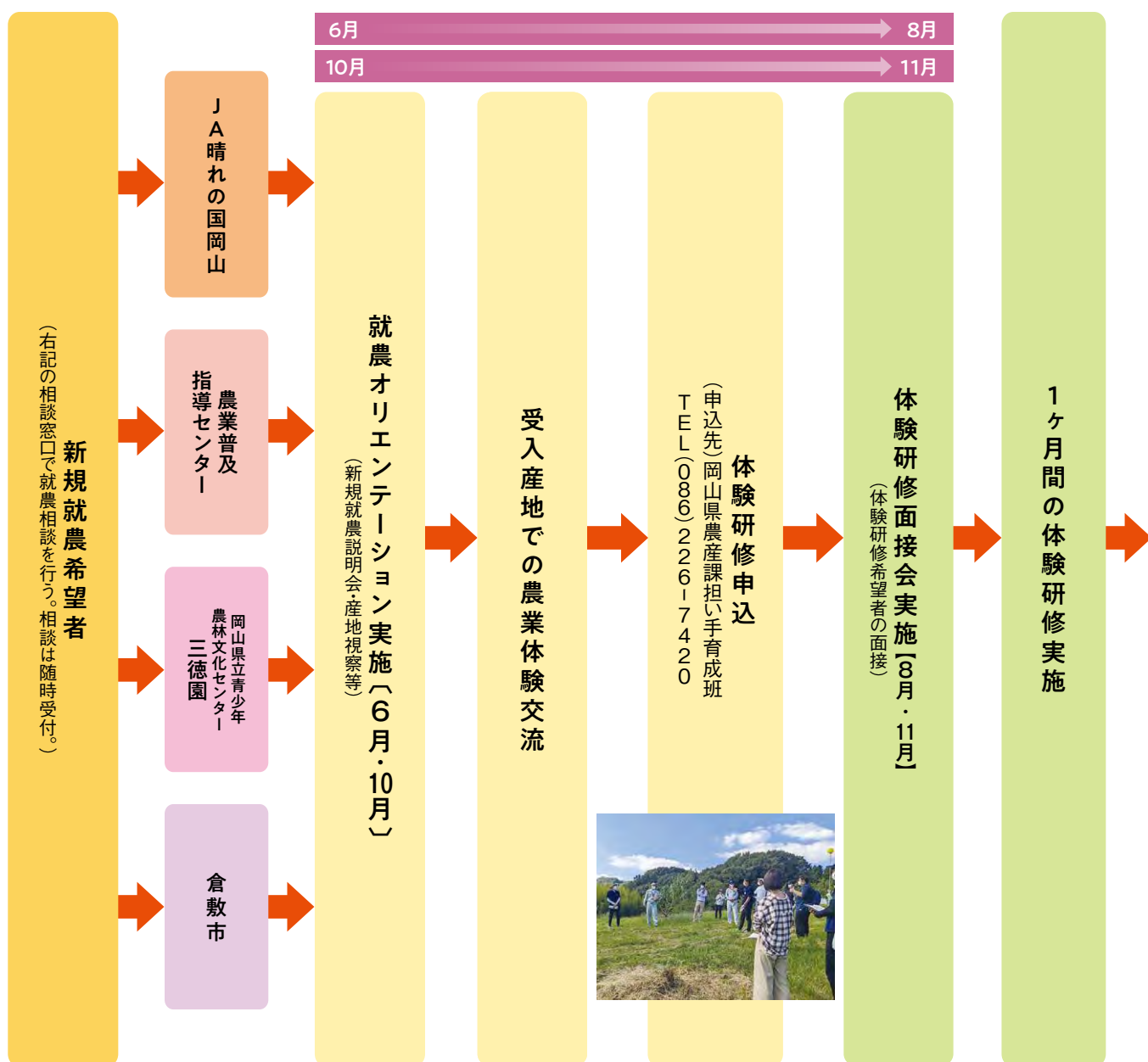
研修受入品目

倉敷市では次の3品目の研修を積極的に行っています。



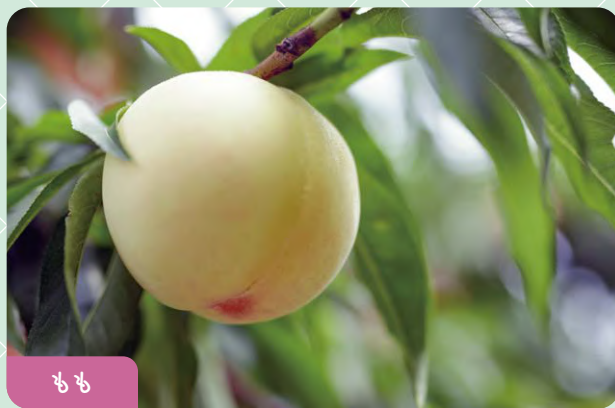
ぶどう

新規就農受入の流れ(フロー図)





花き（スイートピー）



もも

体験研修実施後実務研修受講の意思を確認
受入関係機関の意見調整

研修計画の作成

研修受入の最終審査

実務研修実施協議

実務研修（最長2年）

就
農

研修体制・研修スケジュール

農家に必要なものは栽培技術だけではありません。

倉敷市では、さまざまな研修を通して農業を続けていくために必要な知識や技術をしっかり学べます。

研修体制



主要技術研修

下記研修スケジュールに沿って技術の基礎を学びます。1年目は受入農家で知識・技術を研修します。2年目は1年目で学んだ技術・知識を研修会場等で実践し、不明な点・疑問点について受入農家の指導を仰ぎます。

基礎研修

研修後に地域農業者として独立自営していけるように、地域農業者・地域住民との交流を図るとともに、就農後地域農業の推進に貢献できるよう地域の実態の把握に努めます。

研修スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
主要技術研修	ぶどう	新梢管理(芽かぎ・摘心) かん水(時期・量)						
		防除(主要病害虫診断・防除方法・薬剤選択)						
		花穂整形	摘粒・房作り		収穫出荷 (箱詰方法・荷姿・出荷手順)			
	スイートピー	収穫・出荷	種子冷蔵				播種	摘心、整枝、支柱設置等
		定植準備						
	もも	採種管理・片付け						
		人工受粉	摘果		収穫・出荷			
防除			袋かけ		秋季せん定 施肥			
基礎研修	地域農業の実態把握							
	農業者交流							
研修生ミーティング		ミーティング(年2回程度)						



栽培技術外指導

研修に対する意識や生活面に関すること等、栽培技術以外の指導を行います。特に、地元農家との交流や地域の仲間づくりを図り、地域の方々との関係を深めることは重要です。

研修生ミーティング

年2回程度研修生・農協・農業普及指導センター・農業公社・倉敷市等関係者が集い、研修生の研修成果・今後の予定を報告並びに相談します。

研修会

技術取得のための研修会等に参加します。

10月	11月	12月	1月	2月	3月
土づくり (土づくり方法・肥料の種類と特徴)			加温・温度管理		定植 (定植方法)
ハウス建設 (建設手順・ビニールハウス張替え)			整枝・せん定 (せん定方法・仕立て種類)		
			加温 (加温機メンテナンス方法・加温方法)		
巻きひげ、側枝の除去、つる下げ誘引、収穫・出荷(切り花、水揚げ、選花、箱詰め)					
温度管理・養水分管理・病虫害防除					
土づくり 改植準備			冬季せん定		採種管理
			摘蕾		定植

実務研修生受入条件

- 1 積極的に研修に参加し、就農に対する意欲をもっていること。
- 2 独立・自営就農しようとする55歳未満の者。
(ただし、農家出身者は、就農予定時の年齢が50歳未満であること)
- 3 研修受入について産地と合意が得られていること。
- 4 積極的に交流を図り、地元との良好な関係を保つこと。

関係機関の役割分担

農業公社

実務研修事業主体、就農相談情報総括管理、就農相談、実務研修に係る総合的な指導、地元農家との関係調整、研修生ミーティングの主催等研修全般

倉敷市

事業文書処理、就農相談対応

受入農家

栽培技術指導

農業普及指導センター

栽培技術指導、資金相談、
体験研修事業主体

農協

栽培技術指導、新規就農者への地元農業情報の提供、実務研修事業主体、就農相談情報総括管理、就農相談、実務研修に係る総合的な指導、地元農家との関係調整、研修生ミーティングの主催等研修全般



\\ 倉敷の農業・就農について //

研修生就農状況

作目	出身地	就農年度	就農時作付面積
桃	大阪府	R4年度	70a
桃	京都府	R3年度	67a
ぶどう	浅口市	R3年度	40a
桃	倉敷市	R3年度	100a
桃	大阪府	R3年度	100a
桃	倉敷市	R3年度	44a
スイートピー	倉敷市	R2年度	12a

作目	出身地	就農年度	就農時作付面積
ぶどう	倉敷市	R2年度	38a
桃	倉敷市	R2年度	80a
桃	倉敷市	R2年度	75a
桃	里庄町	R2年度	27a
ぶどう	大阪府	R元年度	40a
桃	倉敷市	R元年度	42a
ぶどう	倉敷市	R元年度	23a

産地紹介

ぶどう



船穂町ぶどう部会

生産者戸数：97戸
栽培面積：30ha
出荷量：347t (令和3年)

真備ぶどう生産組合

生産者戸数：102戸
栽培面積：17ha
出荷量：149t (令和4年)

玉島北園芸協会ぶどう部会

生産者戸数：50戸
栽培面積：13ha
出荷量：93t (令和4年)

もも



玉島北園芸協会桃部会

生産者戸数：251戸
栽培面積：105ha
出荷量：563t (令和4年)

浅原園芸組合

生産者戸数：48戸
栽培面積：24ha
出荷量：230t (令和4年)

スイートピー

船穂町花き部会

生産者戸数：15戸
栽培面積：約4ha
出荷量：800万本(令和3年)



倉敷市のぶどう栽培

1 産地の概要

倉敷市内のぶどう産地は、温暖な気候を生かしたハウス栽培が盛んで、県内有数の早期出荷産地として、国内外から高い評価を受けています。

主要品種はマスカット・オブ・アレキサンドリア(以下アレキ)、シャインマスカット(以下シャイン)、ピオーネ、紫苑などがあり、ハウス加温栽培から、簡易被覆(トンネル)栽培まで、作型を組み合わせることで、6月上旬から12月上旬という長期連続出荷を行っております。

特に船穂地区のアレキは、昭和26年に3名の生産者によって開始され、同39年には農業構造改善事業(ビニールハウスの建設等)、畑かん事業(かん水施設整備)により高品質化を進め、更に昭和35年には他産地に先駆けて5月出荷体系を確立、現在も県内トップの品質を誇っています。高度な技術が必要とされるアレキ栽培の経験を活かすことで、シャインの品質評価も高く、国内外の市場からますますの高品質安定生産が期待されています。



2 出荷・販売状況



各品種の出荷時期 ■主な出荷先/岡山県内、東京、大阪等

品種名	出荷時期(月)											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アレキ												
シャイン												
ピオーネ												
紫苑												

3 産地の取り組み

徹底した糖度等品質検査

出荷物は、各選果場において検査員による厳正なる目視に加え、非破壊糖度計による検査も行います。こうした取り組みにより、市場に信頼される産地となっています。

天敵導入

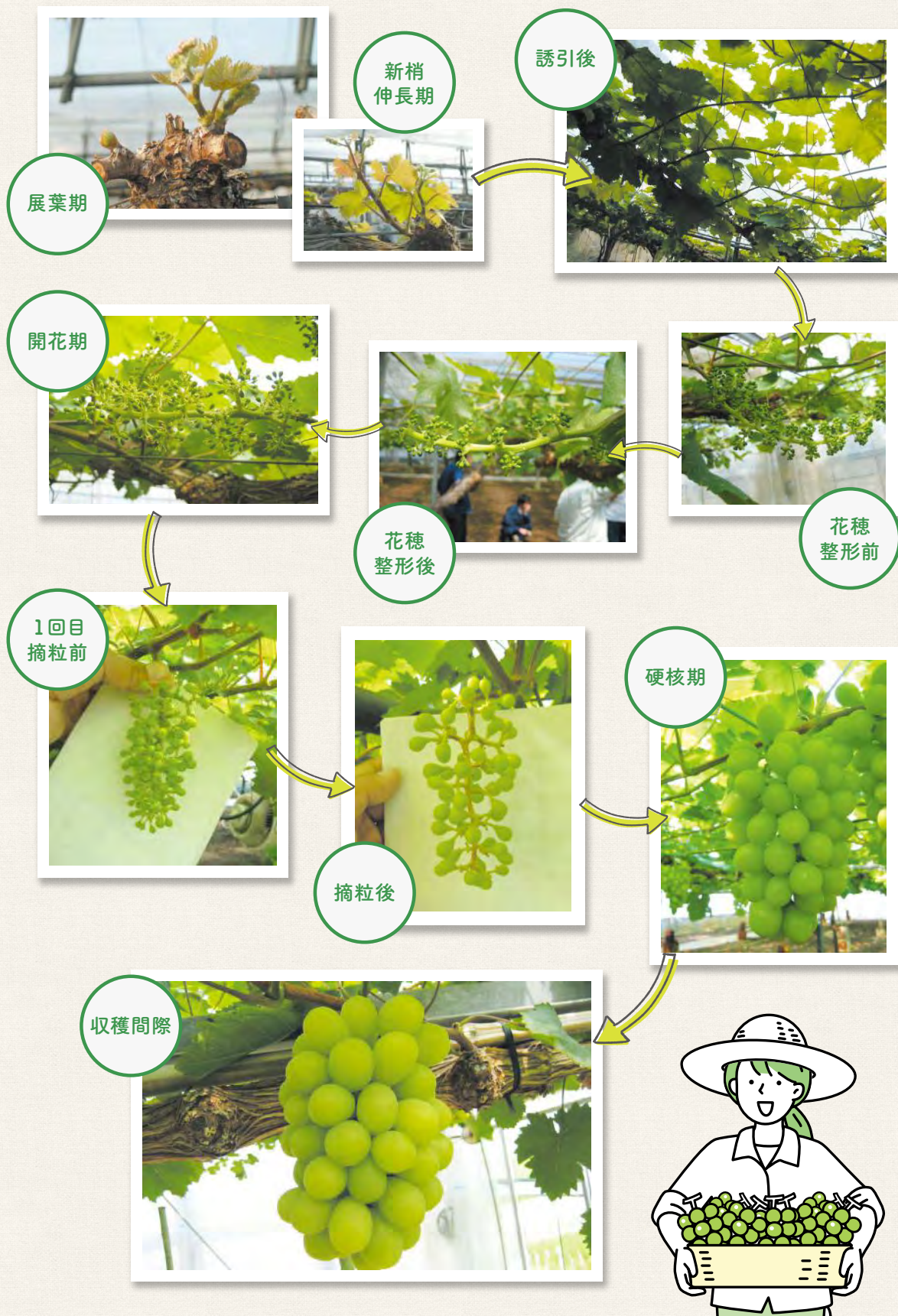
船穂地区を中心に、施設栽培で問題となるハダニ類の発生抑制を図るため、天敵を導入し、農薬使用回数低減による環境に優しい農業を推進しています。

スマート農業の取組

環境制御機器を導入し、施設内の温度、湿度、日照量などを計測し、高品質ぶどう生産に求められる最適な環境を再現出来るよう取り組んでいます。

発芽から収穫まで

マスカット・オブ・アレキサンドリアの場合



倉敷市船穂地区のスイートピー栽培

1 産地の概要

船穂地区のスイートピーは、昭和33年頃からぶどうの間作として導入され、冬季温暖で日照の良い条件を活かして、品質・生産規模ともに全国有数の産地となっています。

平成4年から共選共販体制を整備し、平成8年にはカラーコード、平成17年にはバーコードを導入し、選別出荷の合理化を図っています。更に令和2年には選花場を新設し、東京、大阪など大都市圏を中心に安定した供給を行っています。(出荷本数800万本。令和3年度実績)

また、品種(主要品種はラベンダー、クリスタル、キャサリン、ステラ等)や出荷規格の統一、オリジナル品種の開発、4色セットを「ももたろう」と名づけて有利販売の努力を行っています。近年では、生花店などの実需者ニーズに合った染め品種の開発に取り組むなど、産地ブランド力の強化を図っています。

このような努力の結果、市場評価は高まっており、大都市市場からはアメリカ等、海外への輸出もなされています。



■ マメ科ラティルス属
学 名 / *Lathyrus odoratus*
和 名 / ジャコウエンドウ
原産地 / 地中海沿岸

2 生産・販売状況

栽培体系

作 型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
加温栽培	→						●	●	○	○	←	←	出荷用

● 種子冷蔵 ○ は種 ← 収穫

3 スイートピーミニ知識



3月の誕生花

■ 開花期により、冬咲系、春咲系、夏咲系に分類され、ピンク系を主体に白、紫、橙等々多彩な花色がつけられ、華やかさのなかにある優しさ、香りの良さが魅力として多くの人に親しまれています。

■ 花ことばは、「門出、優しい思い出」。通常の花束やアレンジだけでなく、卒業式や入学式でもよく使われています。

■ 毎年1月27日は船穂スイートピーの日です。
(毎年1月21日は全国スイートピーの日です。)
(ともに日本記念日協会)

は種から収穫（採種）まで

は種
(9月上旬)



低温処理した種子を
まきます。

は種後
2週間



開花
(11月～)



つる下げ
作業



蔓は最長で4～5mにもなるので、2m程度の
支柱やネットを超えてしまいます。
そのため横へ横へと蔓を移動し、茎頂部を
100cmの高さまで下げます。

収 穫

次々咲いてくる花を約6か月にわたり収穫します。
その本数は、10aで20万本以上にもなります。



荷造・調整



荷 姿



生産者一人ひとりが、
規格ごとに花を分けて
見栄えのよい扇形の
花束にして箱詰めして
出荷します。

倉敷市の もも 栽培

1

産地の概要

玉島地区は、明治27年から丘陵地帯でもも栽培が始まった歴史ある産地です。構造改善事業による畑地かん漑施設の導入、葉タバコからももへの転換、水田転換等によるもも園地造成により、産地規模が拡大しました。経営規模1ha以上の大規模もも専業農家や、若手の生産者が多く、県内最大の白桃産地として評価されています。

浅原地区は、倉敷市街を見下ろす風光明媚な高台に位置し、ももの本来持つ力を最大限に活かす栽培方法である「岡山自然流」に取り組む産地です。生産される高品質な白桃は市場評価も高く、更に市場と連携した新商品開発等を行うことで、有利販売を展開しています。



もも主要品種の収穫期のめやす（岡山県南部）

品種	6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
はなよめ												
日川白鳳												
加納岩白桃												
白鳳												
清水白桃												
おかやま夢白桃												
川中島白桃												
白麗												
白皇 [®]												
瀬戸内白桃												
恵白												
ゴールデンピーチ												

2

出荷・販売状況

■主な出荷先／岡山県内、広島、東京、大阪等

3

産地の取り組み

糖度の高いもも出荷体制の確立と 高品質生産マニュアル作成

玉島地区は平成4年、浅原地区では平成18年に非破壊糖度センサー選果機を導入し、糖度保証による有利販売を進めています。また選果データは研究機関と連携した分析により、おいしいもも生産マニュアルを策定、県下の高品質もも生産に大きく貢献しています。

新規参入者の受入に向けた取組

新規就農者をスムーズに受け入れるために、組織の長を中心に、園地情報収集、耕作放棄地の再生などを実施し、園地の確保を進めています。また、毎年部会員を対象に園地の利活用状況アンケートを行い、地域の状況を把握することで、耕作放棄地の発生を未然に防ぐとともに、園地の若手生産者など担い手への農地の集積を進めています。

また、新規就農者等を対象とした研究会を立ち上げ、栽培技術向上による早期経営安定を図っています。

晩生品種の推進

労働分散と長期安定出荷のため、平成26年から晩生品種の苗木の購入に部会独自の助成を行い、植栽を推進しています。

大都市圏に向けた出荷体制強化

今後も強い消費が見込まれる大都市圏に対して、市場との連携を密に取りながら出荷数量を高めることで、農家所得の安定化を図っています。

開花前から収穫まで

摘蕾
(1~3月)



花芽(蕾)を間引きます。

開花
(4月上旬)



人工受粉
(4月上旬)



花粉の無い品種には受粉をします。

摘果
(5~6月)



幼果を2~3回に分けて間引きます。

袋かけ
(6月)



間引き終わった果実に袋をかけます。

収穫
(6~9月)



選果・出荷
(6~9月)



選果場へ持ち込み、糖度センサー付き選果機にかけて選別し、市場へ出荷します。

粗選果
(6~9月)



収穫した果実の袋を取り、外観から大まかに選別します。

Q&A

よくある

心配ごと



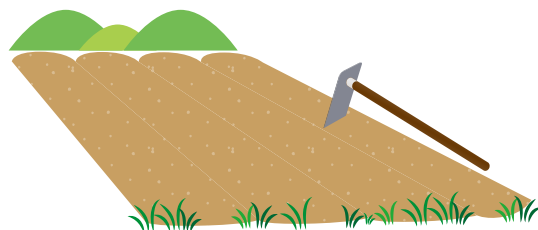
Q 栽培技術の支援は？

A 受入農家での体験のほか、農協・農業普及指導センターの指導員が随時指導を行います。



Q 農地はあるでしょうか？

A 農業委員会や農地中間管理機構などの関係機関を通じて、市内の農地を紹介します。



Q 実務研修時の生活費が心配です。

A 年間150万円が最長2年間支給されます。



Q どのくらいの収入になりますか？

A あくまで数値上の試算です。価格変動や気象条件、品質等によって異なります。



ぶどう（アレキ）

農業収入 617万円（2月加温）

支出 455万円（諸費用）

労働時間 650時間

（10aあたり）

夫婦2人で30～40a程度栽培されている農家が多いです。

参考 ジャインマスカット（トンネル栽培）

・農業収入／366万円

・支出／120万円

・労働時間／430時間

（10aあたり）

スイートピー

農業収入 756万円（加温）

支出 410万円（諸費用）

労働時間 2,800時間

（10aあたり）

経験を積んだ夫婦2人の場合20a程度栽培されている農家が多いです。また、忙しい時期が集中しますので、10aにつき年間1,000時間程度パートを雇用します。

もも（清水白桃）

農業収入 238万円

支出 126万円

労働時間 320時間

（10aあたり）

新規就農者は夫婦等2人で1haを目標としています。複数の品種を植えて、収穫時期をずらし作業分散させ、栽培面積を増やすと共に出荷期間を長くして、所得の向上を図っています。作業が間に合わない場合は、パートを雇用します。

Q 自己資金はどのくらい必要ですか？

A 農地を新たに購入しビニールハウスを建てるのか、ビニールハウス付の借地を借りることができるのか等条件によっても初期設備投資金額が変わります。農地を新たに購入し、ぶどうの苗木を植えた場合は、3年間はほとんど収穫できませんので、その間の生活費も考えなければなりません。家族構成や生活内容によりますので一概にいくらとは言えませんが、引越し費用と3年間分の生活費はご用意いただくことをお勧めしています。また、初期投資の自己資金としては、ぶどう、スイートピーについては、1,000万円程度、ももについては、500万円程度をご用意いただくほうがよいと考えられます。

最後に確認！

あなたの農業への思いはどうですか？

check 1 農業を始めたいきっかけは何ですか？

「田舎で自然に囲まれた暮らしがしたい」「会社勤めより楽しそう」といった憧れの気持ちだけで農業を考えていませんか。農業はサラリーマンと違い、月々の収入は決まっていません。特に自然を相手にしますので、作物が思った通りに育たないこともあります。

check 2 家族の理解はどうですか？

農作業以外での新たな生活においても、環境の変化は心身ともに疲れるものです。また、1人での農作業は効率もよくありません。家族の理解と協力があるからこそ農業を続けられるものだと思います。



check 3 地元の人との付き合いが大切なのは知っていますか？

農業をするのはもちろんのこと、農村での生活面においても周りの方に相談すること、協力してもらうことはたくさんあると思います。積極的に地域交流していくことは必要であると考えます。



お問合せ先

岡山県備中県民局農林水産事業部
備南広域農業普及指導センター
TEL.086-434-7048

倉敷市農林水産課
TEL.086-426-3425

倉敷市船穂農業公社
TEL.086-552-5001

晴れの国岡山農業協同組合
岡山西広域営農経済センター
TEL.086-522-2404

2023年3月発行

